

## 「人権フェスタひまわり」がありました

12月9日(金)、「人権フェスタひまわり」が行われました。各学年のこれまでの取り組みや成長、経験してきたこと、地域の方から学んだこと、人権学習で学んだこと、仲間とのつながりを振り返り、見つめなおす場であり「はみごのないまち、学校づくり」という目標を「夢バトン」として3年から1・2年へ受け継いでいく、五中にとってとても大切な機会でした。

例年、「世界人権デー」(12月10日:世界人権宣言が、1948年12月10日に国連総会で採択された)の時期に「人権フェスタひまわり」を実施しています。

「人を仲間はずれにしないし、自分も仲間はずれにならない。1人1人を大切に。1人1人の人権を大事にする。自分も隣の人も同じように大事にする。そんな暖かいクラス、学年、学校、そして、はみごのないまちを作っていきたい。」先輩からうけついできた思いです。それを夢バトンという言葉で表現しています。

まだまだ課題はありますが、新しいとりくみもいくつか始まっている今年。今回はその活動や思いを出し合う場。作品や映像や歌、メッセージを通して、その気持ちや仲間のつながりを、表現する機会でした。進行は生徒会役員がつとめました。



### 【1年生】



地域フィールドワーク、体育大会での新しい学年競技、有志でのふれあい子どもカーニバル、自炊した秋の校外学習等、いろいろと新しいことに取り組んできた事が紹介されました。1つ1つ成功させていく中で、新しい友達もできてきました。一方で調子に乗ってふざけてしまい、注意される事が2学期増えました。そんな中、限られた時間で、共同作品「モザイクアート」づくりに取り組みます。1.5cm角に切った色紙の

ピース 25000 枚を台紙に貼っていきました。みんな助け合って細かい作業を行い、早くできたら他の人の手伝いました。作業中は何を作っているのか、よくわからなかったと思いますが、つなぎ合わせて遠くから見ると、何と五中の校舎の姿になりました！とても感動しました。65期生には、みなで力を合わせて、新しいことにも取り組める力があります。「協力と自主性」、「良心伝心」のスローガン、みんなでよい心を共有できるよう、忘れずにいてください。



## 【2年生】

職場体験で感じた事を振り返り、短歌にまとめていましたが、その一部を垂れ幕にして紹介してくれました。続いて動画で、今流行の恋ダンスを紹介。これは学年の中で「自分たちだけで勝手に遊ぶ一方で、人の事なんか知らないという人もいて、何か溝ができていく感じがする。それを何とかしたい。」との思いから、64期全員で何か一つのことをやりとげたい、みんなで声かけ合ってやれることをしようと取り組みました。

恥ずかしがっている人も中にはいたけれど、ダンスの振り付けを教え合ったり、撮影のとき呼びに行ってもその場で伝えたりして、みんなで協力して踊ることができました。安心できる学年にするために、大切にしたいことを班で考えて、紙に書き、その周りで踊っていました。

みんなで、考えたメッセージを最後に披露してくれました。「仲間を思いやり、人を傷つけたりすることなく、みんなが楽しめる。この学年でよかったと思えるように、安心できる学年にしたい。」64期生の「明るさやパワー」を今日は感じました。今後の成長に期待します。



## 【3年生】

3年間の活動を振り返り、学年目標や行事の目標に、一杯思いをこめてやってきたこと、特に学年全員がそろろうことにずっとこだわってやってきたことが伝わってきました。何度かやった学年ミーティングの話もありました。また夢バトンとは何かをクラスで考え、まとめてメッセージを発信してくれました。今回は、みんなで取り組めることとして、折り鶴壁画を制作しましたが、いろいろ忙しい中、折り方を教えあい、1つ1つ折っていく作業は大変で、まさに努力の積み重ねでしたね。クラスにいない人の分も持って行って、折ってもらい、全部で6000羽の折り鶴を作りました。デザインを考え、場所を決めて貼り付け、有志も集まって作業を続け、完成したのは前日の放課後でした。「一日一笑」の文字を書く姿もよかったです。仕上がりはすごく美しく、さすが3年生でした！3年間積み重ねてきた、「みんなで助け合い、共に過ごす、それが当たり前」と思ってきた63期生の暖かさがよくあらわれていたと感じます。制作風景などは、会場全体が真剣に見ていました。これからの3か月あまり、みんなで進路の壁を乗り越えていって下さい。



## 【生徒会】

生徒会役員で、前期後期の引継ぎの話し合いから、「五中キャラクターの共同作品を作ろう」「ペットボトルのキャップを集めよう」と声をかけはじめたのは10月末。わずか1か月で1万個以上集まりました！生徒みんなが協力してくれ、家庭や地域の方、事業所からも、たくさん出していただきました。ご協力ありがとうございました。色が足りないので、色画用紙を丸く切り抜く作業もしました。デザインを拡大して色を決め、材木を用意し、両面テープでキャップを1個ずつ貼っていきました。作業は朝、昼休み、放課後にわたり、生徒会執行部と有志で、すごく頑張ったと思います。初めは無理ではないかと言っていました、見事にやり遂げました！すごいことをやったと思います！

最後に、全員で「夢バトンの歌」を合唱しました。全員での練習は、フェスティバル直前の1回だけだったけれど、大きな声で歌えました。

作詞 五中第五十六期生

作曲 小林 理子 喜多 陵介

悲しい時 さみしい時 きっと誰かがそばにいるよ  
一人ひとりがつながりあえば 不安や孤独は消えてゆく  
強くなれる 信じあえる  
一緒に歩んでゆく 仲間がいれば  
伝えていくよ 伝えていくよ 未来につなげる夢バトン

うれしい時 楽しい時 いつも誰かと 分け合っている  
一人ひとりが笑顔になれば 豊中の町に花が咲く  
夢をもてる 勇気出せる  
思いを分かち合える 仲間がいれば  
伝えていくよ 伝えていくよ 未来につなげる夢バトン

ゲストの児童館小山さん、まちづくり協会酒井さんからお話がありました。「前半、私語が気になったけれど、後半しっかり見ている姿を感じて、笑顔になれた。」「夢バトンを、12年間持ち続けている。大人も一緒に握ることで、勇気がわいてくる。これからも大切にしていってほしい。2年から3年へと成長を感じた。今の2年も期待しています。」等、励ましや暖かいメッセージをたくさんいただきました。



全体をとおして、五中生のパワーを改めて感じました。発表する人は緊張しながら一生懸命やっていました。一方で見る姿勢はどうでしたか？一部にふざける行為や、うるさくなる時があったのは残念です。取り組みに込めた願いは、学年の中で伝わっていますか？ 後半、3年や生徒会の発表、制作風景は、皆集中して見ていました。

今年の花は、学年や学校みんなのできることに取り組んでいました。一人ではできないこと、力を合わせないとできないことに取り組み、ものづくりでつながる人と人を感じることができました。生徒会のスローガンは「十人十色」でしたが、1つ1つの色紙、折り鶴、ダンスのパート、みんな違い、違う色です。ジグソーパズルのピースと同じで、1つでも欠けたら、1コマでもなかったら完成しませんでした。クラスや学年もそうではないでしょうか？

2学期はあと1週間。3学期末までに約4か月。その間に、みんなが少しでもつながれて、全員の居場所があるようにと願っています。力を合わせて一つの事をやりとげること、つながろうとすること。今回「夢バトン、はみごのないまち・学校づくり」というスローガンは伝わったと思います。今日の事を、忘れないで、これからの1日1日に活かしていきましょう。

